

2020年度第1回小倉競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 小倉城特別

小倉城（こくらじょう）は、北九州市小倉北区にある城。戦国時代末期に毛利氏が築城したのが始まりとされる。昭和34年に現在の天守閣が再建され、平成10年には城内下屋敷跡に江戸時代の大名屋敷を再現した小倉城庭園が完成した。

○ 農林水産省賞典愛知杯（GⅢ）

本競走は、昭和38年に創設された重賞競走。当初は、外国産馬以外のすべての馬に出走資格が与えられていた。47年には、内国産種牡馬の奨励と保護の一環として、父内国産馬限定競走となった。平成16年からは牝馬限定の競走として改められ、18年より実施時期が6月から12月、28年より12月から1月に変更された（27年は休止）。

○ 鳥栖特別

鳥栖（とす）は、佐賀県東部の市。律令時代は宿駅、江戸時代は長崎街道の宿場町として発展した。現在も九州の交通の要衝として知られ、国道3号と34号線、鹿児島本線と長崎本線の分岐点である。また、市内には国の天然記念物であるカササギの生息地がある。

<第2日>

○ ネモフィラ賞

ネモフィラ（Nemophila）は、ハゼリソウ科の一年草。原産地は北アメリカ。春に淡青色の花を咲かせる。名は、ギリシャ語の「ネモス（小さな森）」と「フィロ（愛する）」に由来する。花言葉は「愛国心」「可憐」。

○ 巖流島特別

巖流島（がんだりゅうじま）は、山口県下関市、関門海峡に浮かぶ船島の別名。宮本武蔵と佐々木小次郎が決闘した場所として有名。毎年、巖流島を遠望する北九州市小倉北区の手向山（たむけやま）公園では、両剣聖を偲んで「武蔵・小次郎まつり」が開催される。

○ 呼子特別

呼子（よぶこ）は、佐賀県唐津市の地名。一帯は玄海国定公園で海中公園地区があり、名勝・史跡も多い。呼子湾では、イカをはじめとした漁業が盛んに行われ、朝市には多くの観光客が訪れる。

<第3日>

○ 萌黄賞

萌黄（もえぎ）は、萌え出た若葉のような冴えた黄緑系統の色。古来より用いられ、平安時代には若者向けの色とされた。

○ 響灘特別

響灘（ひびきなだ）は、福岡県の北東方、山口県の西方の海域。西は玄界灘に続き、冬季は季節風が強く吹くことから、古来より大陸への重要航路であったとされる。沿岸には古代の遺跡が多く見られ、中国大陸や朝鮮半島との交流が深かったことを今に伝えている。

○ 脊振山特別

脊振山（せふりさん）は、福岡県と佐賀県の境にある脊振山地の主峰で、標高 1,055m の山。頂上には脊振神社がある。また、鎌倉時代に栄西禅師が宋の茶を移植したことで知られ、日本茶栽培の発祥地とされる。

<第4日>

○ 壇之浦特別

壇之浦（だんのうら）は、山口県下関市、関門海峡の東の海域である早鞆瀬戸（はやとものせと）に臨む海岸。源平合戦最後の戦場として知られる。関門トンネル・新関門トンネル・関門橋が集まる交通の要衝で、安徳帝を祀る赤間神宮など史跡の多い観光地でもある。

○ 門司ステークス

門司（もじ）は、北九州市の区。同地区は、九州の北端に位置し、関門海峡を隔て、山口県下関市と相対している。門司港は、国際貿易港として繁栄し、旧門司三井倶楽部や旧門司税関などの歴史的建造物を活かした「レトロの街」としても知られ、北九州市の代表的な観光名所となっている。

○ 八幡特別

八幡（やはた）は、北九州市にある区。明治時代に八幡製鉄所が開設されて以来、工業地帯として発展した。昭和 38 年に八幡市から北九州市八幡区となり、49 年に東西に分区した。

<第5日>

○ くすのき賞

くすのき（樟）は、クスノキ科の常緑高木。日本では九州に多く生息しており、長寿で高さ20m以上の大木になる。葉は卵形で先がとがり、光沢がある。5～6月にかけて黄緑色の小花をつける。また、防虫剤や医薬品に広く利用されている天然樟脳（しょうのう）が採れる。

○ 海の中道特別

海の中道（うみのなかみち）は、福岡市東区にある玄界灘と博多湾を区切る砂州。架橋で志賀島と結ばれている。江戸時代に植えられたクロマツによる白砂青松の景勝地で、志賀島とともに玄海国定公園の一部を形成する。国営の「海の中道海浜公園」を始め、水族館「マリンワールド」などがあり、行楽地となっている。

○ 小郡特別

小郡（おごおり）は、山口県山口市にある地名。江戸時代には山陽道の宿場町として栄え、昭和50年に山陽新幹線、58年に中国自動車道が開通し、山口県の玄関口として重要な役割を果たしている。

なお、同地にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ小郡がある。

<第6日>

○ 開聞岳特別

開聞岳（かいもんだけ）は、鹿児島県薩摩半島南端に位置する火山。標高924m。その見事な円錐形から薩摩富士とも呼ばれ日本百名山のひとつとされている。

○ 周防灘特別

周防灘（すおうなだ）は、瀬戸内海最西部に位置する水域。瀬戸内海にある灘の中では最も水域が広い。山口県南岸と九州北東岸に囲まれ、西は関門海峡で響灘に通じ、東は祝島と国東半島北方の姫島を境として伊予灘に接する。

○ 宝満山特別

宝満山（ほうまんざん）は、大宰府と筑紫野市にまたがる山。別名「竈門山（かまどやま）」「御笠山（みかさやま）」とも言う。古来より神が降り立つ山として崇められ、平成25年には、日本の山岳信仰を知る上で重要な山として国の史跡に指定されている。

<第7日>

○ かささぎ賞

かささぎ（鶺鴒）は、スズメ目カラス科の鳥。佐賀県の県鳥。「カチカチ」という鳴声から、カチガラスとも呼ばれる。日本では、佐賀平野を中心とした地域に生息しており、それらの地は国の天然記念物に指定されている。

○ 太宰府特別

太宰府（だざいふ）は、福岡県中西部の市。律令制下で西海道（九州全土）を統括した官庁である大宰府が置かれていた。また、「学問の神」と崇められる菅原道真を祀った太宰府天満宮があり、全国から多くの参拝者が訪れる。

○ 大牟田特別

大牟田（おおむた）は、福岡県南西端の市。大牟田市から熊本県荒尾市にまたがって広がる三池炭鉱を中心に石炭化学工業コンビナート群が形成され、有数の化学工業都市として発展を遂げた。同炭鉱が閉山してからは、エコタウンやテクノパークなどに参加する企業の誘致にも力を入れている。

<第8日>

○ 和布刈特別

和布刈（めかり）は、北九州市門司区の地名。名は、和布刈神社に由来する。「和布刈」とは、わかめを刈り取ることを意味し、同神社では旧暦の元旦に神官がわかめを刈り取る行事「和布刈神事」が行われている。

○ 関門橋ステークス

関門橋（かんもんきょう）は、北九州市と下関市を結ぶ関門高速道路が走る吊り橋。全長1,068m、幅26mで桁下は61m。昭和43年に着工し、48年に開通した。

○ 日田特別

日田（ひた）は、大分県西部の市。江戸時代には、日田金で有名な九州の金融の中心地であった。市街を流れる三隅川沿いの水郷地帯は耶馬日田英彦山国定公園に属し、咸宜園（かんぎえん）跡などの史跡も多い。周辺の山地は全国屈指の杉（日田杉）の産地で、製材や木工業が盛ん。また、北端の皿山は小鹿田焼（おんたやき）で知られる。

<第9日>

○ あすなろ賞

あすなろ（翌檜）は、ヒノキ科の常緑高木。日本固有種で、全国の山地に自生し、大きいものは高さ 30m、直径 1mにもなる。葉はやや厚く大きなウロコ状で緑色をしており、裏面には雪白色の模様がある。抗菌性と耐湿性に優れ、古くから木材として用いられている。

○ 紫川特別

紫川（むらさきがわ）は、北九州市の中心部を流れる川。延長約 20 km。小倉南区の福智山に源を発し、小倉北区で響灘に注ぐ。上流には平尾台があり、下流では北九州市最大の三角州を形成している。

○ 合馬特別

合馬（おうま）は、北九州市小倉南区の地名。名は、大化の改新により「駅伝の制」が導入された際、都と全国の国府を結ぶ幹線道路上の駅に、官吏公用で諸国へ行く者の為に備えられていた馬（駅馬）が、当地にて落ち合い鼻を突き合わせたことに由来する。なお、周辺の竹林で採られる筍は「合馬たけのこ」として知られる。

<第10日>

○ 玄海特別

玄海（げんかい）は、玄界灘に面する地名。リアス式の海岸部は国定公園に指定されている。玄界灘は、対馬海流が流れ、日本近海でも有数の漁場である。西は対馬海峡、東は響灘に連なる。

○ 北九州短距離ステークス

北九州（きたきゅうしゅう）は、福岡県北部にある政令指定都市。同市の官営八幡製鐵所関連施設を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録されている。

なお、同市は小倉競馬場の所在地でもある。

○ 唐戸特別

唐戸（からと）は、山口県下関市の地名。古くから栄えた港町であり、旧下関英国領事館、旧秋田商会ビルや下関南部町郵便局など、レトロな建物が建ち並ぶ。また、ふぐで有名な唐戸市場がある。

<第11日>

○ 早鞆特別

早鞆（はやとも）は、九州の北端、門司崎と下関市壇之浦との間の水路。早鞆瀬戸（はやともせと）の名で知られる。この付近は海峡の中で最も狭く、本州と九州の間の海峡の幅は約 630m。潮の流れも強く、最大 9 ノット（約 17 km /h）に達することもある。

○ 帆柱山特別

帆柱山（ほばしらやま）は、北九州市にある標高 488m の山。名は、神功皇后の三韓出兵の際、この山から船舶や帆柱にする木材を切り出したことに由来する。

○ 八代特別

八代（やつしろ）は、熊本県中南部の市。江戸時代には熊本藩家老松井氏の城下町として栄え、八代城や松濱軒などの旧跡が多く残る。また、低地では農業が盛んで、イグサの生産量は日本一を誇る。

なお、同市には JRA の場外勝馬投票券発売所であるウインズ八代がある。

<第12日>

○ あざみ賞

あざみ（薊）は、キク科アザミ属の多年草の総称。世界中に約 250 種あり、このうち日本ではおよそ 80 種が自生している。身に付けていると北欧神話に登場する雷神トールの加護が得られるとされており、「雷草」とも呼ばれている。花言葉は「厳格」「独立」。

○ 小倉大賞典（GⅢ）

本競走は、昭和 42 年に創設された重賞競走。創設以来、スタンド改築等を除き、小倉競馬場芝 1800m のハンデキャップ戦で実施されており、マイル～中距離路線での飛躍を狙う馬にとって重要な競走となっている。

○ 皿倉山特別

皿倉山（さらくらやま）は、北九州市八幡東区にある山。西に続く帆柱山とともに北九州国定公園となっている。山頂にある展望台からは洞海湾沿岸の工業地帯や関門海峡を一望でき、夜景が美しいことで知られている。